

## 目的

# 福島県循環器病対策推進計画（案）の概要

令和元年12月に「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が施行され、同法に基づき「循環器病対策推進基本計画」が令和2年10月に策定されたことに伴い、「①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」、「③循環器病の研究等の推進」のための本県の計画を策定し、「健康寿命の延伸」と「循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指します。

## 循環器病の現状

- 循環器病は日本の主要な死亡原因であり、本県でも同じ状況
  - ※本県の死亡原因 【出典：R1人口動態統計（確定数）の概況】
    - 第1位：がん（24.9%）
    - 第2位：心疾患（16.0%）
    - 第4位：脳血管疾患（8.9%）
- 疾病別医療費では心疾患と脳血管疾患の占める割合が最多（19.7%、約6兆円） 【出典：H29国民医療費の概況】
- 介護が必要となる原因についても心疾患と脳血管疾患が最多（20.6%） 【出典：R1国民生活基礎調査】
- 回復後も再発が起りやすいのが循環器病の特徴であるため、合併症や重症化予防の対策が重要

## 本県の主な特徴

- 「人口動態統計特殊報告」によると循環器病に係る年齢調整死亡率が高い
  - 脳梗塞の年齢調整死亡率：女性が全国で下位
  - 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率：男女共に全国で下位
- 「福島県循環器疾患発症登録事業2019年分析報告書」から見える発症の特徴
  - 脳卒中発症の特徴
    - ・脳卒中と判定されたのは5,171件、うち死亡597件
    - ・罹患率は247.6、致命率は11.5%
    - ・男性は75～79歳、女性は85～89歳に発症数が多い
  - 急性心筋梗塞発症の特徴
    - ・急性心筋梗塞と判定されたのは939件、うち死亡188件
    - ・罹患率は49.4、致命率は20.0%
    - ・男性は65～69歳、女性は85～89歳に発症数が多い
    - ・罹患数、致命率はともに女性より男性がおおよそ3倍多い
    - ・発症者には高血圧、喫煙、脂質異常症の保有割合が高い

【出典】H29人口動態統計特殊報告  
※下段（）書きは全国値

年齢調整死亡率	男性	女性
脳血管疾患	43.7 (37.8)	27.4 (21.1)
うち脳梗塞	22.8 (18.1)	12.6 (9.3)
心疾患	79.2 (65.4)	41.1 (34.2)
うち急性心筋梗塞	34.7 (16.2)	15.5 (6.1)

## 県計画の構成（案）

【計画期間】令和3年10月～令和6年3月（2年6ヶ月）

### 第1章 計画の趣旨

### 第2章 基本方針、全体目標

### 第3章 本県の現状

### 第4章 分野ごとの課題と主要な施策

※国の基本計画に準拠して県の主要な施策を設定

※県の諸計画（第二次健康ふくしま21計画、第七次福島県医療計画、うつくしま高齢者いきいきプラン等）と調和・連携を図りながら推進していく

#### 1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

(1)栄養と食生活、(2)身体活動・運動、(3)喫煙、(4)飲酒、(5)歯・口腔の健康

#### 2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1)循環器病を予防する健診の普及や取組の推進、(2)救急搬送体制の整備（迅速な救急搬送及び治療の実施）、(3)循環器病に係る医療提供体制の構築、(4)社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援、(5)リハビリテーション等の取組、(6)循環器病に関する適切な情報提供・相談支援、(7)循環器病の緩和ケア、(8)循環器病の後遺症を有する者に対する支援、(9)治療と仕事の両立支援・就労支援、(10)小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

#### 3 循環器病の研究等の推進

(1)循環器疾患の実態把握に関する取組  
(2)死亡診断書を正しく記載するための取組等

<資料編>脳卒中・心疾患ロジックモデル等

## 目標値

項目	性別	現状値	R5目標値
健康寿命（年）	男	71.54 (H28)	71.74
	女	75.05 (H28)	75.32
脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	男	43.7 (H27)	41.6
	女	27.4 (H27)	24.7
心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）	男	79.2 (H27)	76.1
	女	41.1 (H27)	39.6

## 計画の推進体制

循環器病患者等から構成される協議会を設置して検討を行う。また、ロジックモデルを活用し、体系的な施策を策定し、毎年、計画の進捗状況や指標の達成状況について評価・見直しを行い、PDCAサイクルを繰り返していきます。